

コンプライアンス活動報告

コンプライアンス委員会を開催し、コンプライアンス活動の実施状況等について報告がなされた。

記

1. 開催日・場所

- ① 令和5年7月27日（木） 経営会議 川西倉庫本社 新館3階ホール
- ② 令和5年8月17日（木） 取締役会 同上

2. 出席者

- ① コンプライアンス委員長、取締役（監査等委員除く）、上席執行役員、コンプライアンスオフィサー、コンプライアンス事務局長 計20名
- ② コンプライアンス委員長、取締役（監査等委員含む）、コンプライアンス事務局長 計9名

3. 活動報告

- 1) 関税法のうち、輸出（積戻し）貨物の取扱いに関する基礎知識について、課所長を対象に勉強会を実施し、保税運送等の法令の遵守、物流管理システム上の実務について再確認を行った。（5月23日 名古屋支店）
- 2) 関税法のうち、EPA（経済連携協定）貨物にかかる特惠税率の確認方法や税率を適用するための原産地基準について、WEB説明会を開催し、実務担当者への情報展開を行った。（6月13日・6月15日 通関部・営業部）
- 3) 関税法のうち、2022年10月より国内への持ち込みが禁止された模倣品の取締りや、2023年10月追加となる知的財産侵害物品の認定手続きの簡素化について、説明会に参加し内容の理解を深めた。（5月31日 京浜支店）
- 4) 海上運送法のうち、貨物のセキュリティー対策として米国やカナダで実施されている24時間ルールやテロ危険度の高いコンテナの識別・検査体制などについて、勉強会を開催し内容の理解を深めた。（5月26日・5月30日 国際部）
- 5) 家畜伝染病予防法のうち、2023年5月より運用される畜産物検査の合理化にかかる現物検査の一部省略と精密検査時の業務の流れ等について、説明会に参加し内容の理解を深めた。（4月26日 名古屋支店、4月27日 神戸支店）
- 6) 食品衛生法のうち、令和5年度の輸入食品監視指導計画におけるモニタリング実施予定項目の内訳や輸入食品の監査体制の概要について、資料を用いて内容の確認を行った。（4月26日 大阪支店）
- 7) 労働基準法のうち、物流2024年問題で取り上げられているトラックドライバーの時間外労働の見直しや予約システム・パレット化などの有効的な配送計画等について、勉強会を開催し内容の理解を深めた。（5月30日 大阪支店、6月23日 神戸支店）
- 8) 監査室は、継続して業務の適法性などについて各課所の監査を実施している。リスク管理面からみて不適切な事案については、改善指導を行い、フォローアップも実施している。

4. コンプライアンスにかかる報告・相談窓口の利用状況

社内のコンプライアンス通報/相談窓口にて2件の通報があったため、コンプライアンス委員会事務局にてコンプライアンス規程に基づき事実確認の調査を行っている。

なお、弁護士事務所窓口（川西CPホットライン）への期間中の利用および通報はなかった。

以上